

## P2-050

当院小児歯科外来における全身麻酔下  
歯科治療の統計的検討

石山 未紗、白川 哲夫

日本大学 歯学部 小児歯科学講座

## 【目的】

障がい児・者や歯科治療に対する恐怖心が著しく強い小児、遠隔地に在住の小児などでは、歯科治療に際して全身麻酔法が適用されることがある。当科においては近年症例数が増加しており、小児歯科医療でのニーズが高まっていることが推測される。今回、過去10年間に実施した全身麻酔下歯科治療について統計的検討を行うとともに、全身麻酔下歯科治療システムを包括的に評価することを目的としたアンケート調査を行ったので報告する。

## 【対象と方法】

1.過去10年間の実態調査：平成16年1月から平成25年12月までの10年間に本学歯学部附属歯科病院小児歯科を受診した患者のうち、全身麻酔下で歯科治療を行った症例を対象に、症例数、年齢、性別、処置歯数、処置時間、患者の居住地域などについて調査し検討した。

2.アンケート調査：平成27年1月15日から平成28年1月15日までの間に本学歯学部附属歯科病院小児歯科外来で全身麻酔下歯科治療を行った小児患者の保護者に対してアンケート調査を行った。なお、本研究は日本大学歯学部倫理委員会の承認を得ている（倫2014-15号）。

## 【結果】

## 1.過去10年間の実態調査

全身麻酔下で歯科治療を実施した症例は延べ361例であり、症例数は平成18年以降で増加していた。入院よりも日帰りでの全身麻酔下歯科治療が多かった。患者内訳で最も多かったのは知的障害などのない不協力児であった。

## 2.アンケート調査

1) 全身麻酔下歯科治療について：「知っていた」27名（54%）、「知らなかった」23名（46%）

2) 全身麻酔下歯科治療を受けようと思った理由：「子供の負担・協力度を考えると」45名（90%）、「通院回数が少なく済む」21名（42%）、「担当医に勧められた」18名（36%）（複数回答あり）

3) 全身麻酔に対して術前に不安はあったか：「なかった」4名（8%）、「少し不安だった」38名（76%）、「とても不安だった」8名（16%）

4) 全身麻酔下歯科治療についての全体的な満足度：「満足」37名（74%）「おおむね満足」12名（24%）「未記入」1名（2%）

## 【考察】

調査対象者の半数が全身麻酔下での歯科治療を希望されての来院であった。その一方で、半数以上の保護者が全身麻酔下歯科治療に対し漠然とした不安を抱えていることが明らかになった。今後、歯科麻酔科医とより連携を密にし、全身麻酔に関する不安の解消に努めることが重要と考えられた。